



## J-BIRD (事業概要)

2014年3月現在  
在フィリピン日本国大使館

### 1. J-BIRD 事業

- J-BIRD (Japan-Bangsamoro Initiatives for Reconstruction and Development) とは、2006年12月の安倍総理(当時)のフィリピン訪問時に立ち上げられた、ミンダナオの平和と安定に資する日本政府によるミンダナオ支援の総称。  
過去6年間の支援合計額は、約151億円にのぼる。

### 2. 無償資金協力事業

- 草の根・人間の安全保障無償 (GGP) : 2006年12月のJ-BIRD立ち上げに伴い、ミンダナオ紛争影響地域での集中的実施を決定。2006~2013年度までに計75件(約5.8億円)実施。分野内訳は、教育案件37件、人材育成案件14件、保健案件10件、農業案件6件、災害支援案件2件、その他案件6件。
- 日本 NGO 連携無償 : 2009年度以降計8件(約2.5億円)実施。案件内容は : Oxfam-Japan 2件(教育・農業案件)、ICAN 6件(平和教育・先住民族支援案件)。
- WFP 経由の IDP (国内避難民) に対する食糧支援 : 2件実施済  
(コメ支援 : 2009年1月~1年間、8.6億円、食糧支援 : 2011年度、70万ドル)

### 3. ノン・プロジェクト無償見返り資金事業

- 日 ARMM 友好会館及び研修施設、ARMM 道路網改善のための機材供与、公立高校へのパソコン給付プロジェクトの3件(計3.4億ペソ)を2009年6月に承認。

### 4. 有償資金協力事業

- ARMM 社会基金事業 (2004年~2012年、24.7億円) : 世銀との協調融資で実施。村落対象の小規模インフラ整備事業 (CDA) 321件、及び中規模の地域インフラ整備事業 (SRI) 31件を ARMM 地域内で実施済。案件内容は、多目的センター、給水施設、乾燥施設、農業倉庫、小中学校、村落道路の建設・改修等
- 中部ミンダナオ道路整備事業 (2004年4月~2011年12月、37.17億円)

### 5. IMT 要員派遣事業

- ミンダナオ国際監視団 (IMT) への要員派遣 : 2006年よりこれまで日本政府から計6人の社会経済開発アドバイザーを派遣しており、現在も2名が活動中。

### 6. 技術協力プロジェクト

### ＜実施中の主要案件＞

- バンサモロ包括的能力強化プロジェクト（通称包括技プロ;2013年7月～2016年7月、）:2016年のバンサモロ自治政府設立を見据えた①組織・制度作り、②人材育成、③行政サービスの改善、④開発計画の策定等を目的とした支援。
- ARMM 稲作中心営農技術普及プロジェクト（2012年4月～2017年3月、1.8億円）:対象地域の訳3,000戸の農家を対象に営農指導を実施。
- ミンダナオ紛争影響地域コミュニティ開発のための能力向上支援プロジェクト（通称CD-CAAM;2012年3月～2015年2月、4.83億円）:ミンダナオ紛争影響地域（CAAM）において効果的・効率的なコミュニティ開発に係る仕組みづくりを行うと共に、BDAの組織体制整備及び人材育成を通じた能力強化を図る。

### ＜実施済の主要案件＞

- ARMM 地域開発シニアアドバイザー（2006年3月～2013年7月、1.6億円）:2006年よりこれまで計4人のJICA開発専門家をARMM自治政府に派遣。対ARMM支援事業の運営・管理やARMM政府に対する助言を実施。
- ARMM ビジネス・ディベロップメント・サービス短期アドバイザー（2012年7月～2013年3月、0.14億円）:DTI-ARMMのビジネス・ディベロップメント・サービスを強化し、小規模グループやマイクロファイナンス機関のビジネス計画能力を強化することを目的に実施。
- ミンダナオ平和と開発のための地形図作成プロジェクト（2010年～2012年、11.9億円）:ミンダナオ全土の地形図を作成。
- ARMM 人材育成プロジェクト（2008年5月～2013年3月、6.1億円）:行政管理や経済開発等の分野におけるARMM行政官の能力向上を支援。
- ARMM アグリビジネス開発短期アドバイザー（2012年7月～2013年3月、0.15億円）:DAF-ARMMのアグリビジネス能力を強化し、小規模グループや農家のビジネス計画能力を強化することを目的に実施。
- ARMM 地場産業振調査（2010年4月～2011年度8月、2.4億円）:地場産業推進による地域経済活性化戦略を策定。
- ARMM インフラ（道路網）開発調査（2008年9月～2009年7月、2.1億円）:持続可能な経済開発に資するインフラ開発計画の策定や、運営維持管理に関する人材育成計画の策定などを実施。
- ミンダナオ紛争影響地域社会経済復興支援調査（通称SERD-CAAM;2007年3月～2009年11月、6.2億円）:紛争影響地域の復興・開発の促進及び貧困削減のための対象500村落のデータベースを作成して社会経済開発計画を策定。
- ARMM 地域稲作中心営農改善プロジェクト(2005年2月～2010年2月、1億円):農家の生計向上を目的に約4,000戸の農家を対象に営農指導を実施。

（了）